

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆「円・国債売り」一服 自民衆院選圧勝、市場は財政規律維持を期待

・金融市場の混乱が小康状態に。衆院選での自民党の歴史的な大勝後、円や日本国債への売りが一服している。市場参加者は、政権基盤が安定した高市早苗首相が無軌道な財政拡張には踏み切らないと期待する。財政規律をにらみつつ成長投資が進む確度が高まったとして、株式相場は最高値圏が続く。

◆診療報酬、インフレ・賃上げ対応で初診20円上げ 再診は30円

・中央社会保険医療協議会(厚生労働相の諮問機関)は2026年度の診療報酬改定に伴う個別サービスの見直し内容をまとめた。医療機関のインフレ対応経費を考慮して初診を20円、再診を30円それぞれ引き上げる。賃上げの原資として上乘せする報酬も上げる。6月に施行する。

◆東京23区のホテル新設、コロナ後最多 建築コスト高騰も投資相次ぐ

・インバウンドが増加する中、ホテルや旅館など大型宿泊施設の新設が相次いでいる。不動産調査会社のマーキュリーによると、2026年に東京23区で完成予定の新築物件は113棟と、新型コロナウイルス禍が本格化してから最多となりそう。建物全体の総延べ床面積は前回のピークだった20年(161棟)の1.4倍、都心のホテル誘致が加速している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆1月新築一戸建て、首都圏は連続上昇で最高価格を更新

・東京カンテイが発表した1月の首都圏における新築一戸建て(土地面積100㎡以上300㎡以下)の平均価格は、前月比2.7%増の4988万円と2カ月連続上昇し、2014年4月の集計開始以降の最高価格。東京都は0.7%増の6092万円と4カ月連続上昇。神奈川県は2.7%増の5364万円と2カ月連続上昇。埼玉県は2.1%増の4024万円と連続上昇した。

◆地方都市のオフィス容積率緩和へ 国交省、職住近接で東京集中を抑制

・国土交通省は地方自治体がまちの中心部にオフィスを誘致するため、容積率を緩和できる制度をつくる。従来は病院や商業施設など住民向けにサービスを提供する施設に対象を限っていた。地方都市に働く場を設けやすくして、東京一極集中の緩和につなげる。18日召集の特別国会に、都市再生特別措置法などの改正案提出を目指す。

◆建設業「AI活用している」は3.5割 工程管理など特化型の導入も

・アンドパッドが発表した「建設業におけるAI利用実態調査」結果によると、建設業従事者2000人のうち「普段の業務でAIを活用している」と答えた人は34.8%。内訳は「積極的に活用している」は13.2%、「試験的に活用している」が21.6%。AIによる業務効率化への期待が高まる一方で、依然として大半が未導入である実態が明らかとなった。

《 注目商品 》

■コロナ、壁掛けタイプの衣類乾燥除湿機

・コロナは5月から壁掛けタイプの衣類乾燥除湿機「いつでもカラット」を発売。窓の上に設置できるコンパクトなサイズで、多様な間取りに対応。希望小売価格は10万7800円。室内の空気中の水分を屋外へ排出するタンクレス設計を採用。タンクの水捨てが不要。



■トーヨーキッチン、マットメタリック+立体表情の新デザイン

・システムキッチン「BAY(ベイ)」「BAY CUBE(ベイキューブ)」の新デザインとして「S チタニウム2」をラインアップ。マットメタリックな質感と、高圧・高熱処理された特殊樹脂含浸素材「HPL(ハイプレッシャーラミネート)」による立体的なテクスチャーが繊細な陰影を表現。



■シャープ、プラズマクラスタードラム式洗濯乾燥機

・「ヒートポンプ乾燥方式」を採用した洗濯容量8kg/乾燥容量4kgのプラズマクラスタードラム



式洗濯乾燥機<ES-8XS1>を発売。少人数世帯に適したコンパクトタイプながら、「ヒートポンプ乾燥方式」を採用。低温で衣類の傷みを抑えて乾燥できる。

